

ハナイカダ

No.109

雑木林を散策していると、高さ1〜2mの低木としてあちらこちらで見かけます。

その名のとおり、葉の上に淡緑色の花をつけます。やがて緑色の実を結び膨んできますが、夏にはすっかり紫黒色に変わっています。

もつとも本種は雌雄異株しゆういしゆですから、結実するのは雌株めかぶだけです。雌花は一枚の葉に通常一つだけで、めしべしかありません。一方、おしべのみ持ち合わせている雄花は、葉に数個つきますが、それらはやがて落ち、葉は最初から何もなかったように照り輝きます。

なお、本種の若葉は、食用となることが知られています。



紫黒色に熟しはじめた実



ハナイカダ (雌花) ハナイカダ (雄花)

雌花にはめしべ、雄花にはおしべが。